

壁紙施工要領書

インクジェット別注基材

自然素材 メタルベース壁紙

該当品番

- インクジェット別注基材
「土佐レーヨン 雲竜」「市川和紙 落水」「美濃和紙 雲竜」「リネン織物」

施工の下準備

施工の下準備は【一般壁紙】施工要領の「1 作業確認」「2 事前準備」「3 施工環境の調整」または、【リリカラ マテリアルズ施工上のご注意】をご確認ください。

接着剤

糊は【一般壁紙】施工要領の「5 接着剤と養生」をご確認ください。

壁紙の特徴

- ・ 自然素材の壁紙です。自然素材壁紙共通の、透湿性、伸縮性などの特性がありますので、施工上の配慮が必要です。（材料によって差はあります。）
- ・ 天然素材を主成分にしていますので、製造上色差が出ることがあります。あらかじめご了承ください。

事前確認

- ・ 中間層に金属シートを使用していますので、折れ跡やシワが復元することはありません。また、取り扱い時・施工時の折れ跡やシワに対する商品クレームは受け付けておりません。予めご了承ください。
- ・ 「土佐レーヨン 雲竜」「市川和紙 落水」は表面に金属シートが露出しているため、光の当たり方、角度によって色や質感に大きな違いが出ます。必ず事前に基材サンプルをご確認ください。
- ・ 特殊素材のため、事前の基材確認・試験張りを推奨します。
- ・ 出力製品に同梱されている「割付図」をご確認いただき、施工面に対し過不足がないか再度ご確認ください。
- ・ 表層は自然素材である紙・リネンを主素材にしていますので、製造上色差・段差等が出ます。
- ・ 光沢のある表層や織物壁紙は、光の当たり具合や下地の影響で左右色差に見える場合があります。
- ・ 表層材の揺らぎや目曲がり・凹凸によって、基材のジョイントは合いません。また、製造ロットの違いにより色違いが発生します。あらかじめご了承ください。
- ・ 水が直接かかる場所への使用は避けてください。表面に汚れが付着すると取り除けません。

1 下地調整

- ・ 商品自体の厚みが薄いので、施工後の、下地の不陸の目立ちを避けるために、下地面はできるだけ平滑に仕上げるようにしてください。
- ・ 下地面に汚れやチョーク等による文字などが残っている場合は除去するようにしてください。
- ・ パテは下地と同色のものを使用するようにしてください。
- ・ 貼り替えの際、裏打ち紙が下地面に浮いた状態で残っている場合は、必ず剥がしたあとに施工するようにしてください。浮いた所の上で施工しますと、目開きの原因になります。

2 接着剤

- ・ 糊付け機を使用しての糊付けは可能ですが、刷毛等を使用しての糊付けが理想的です。
- ・ 接着剤は原液タイプをお薦めします。希釈タイプ使用の場合は、糊：水＝10：6を目安にし、多めに塗布してください。施工環境によりエチレン酢ビ系ボンドを混合してください。濃度の薄い糊は糊が紙に吸い込まれてしまい、接着力が落ちる他に、壁紙を余計に伸ばして後の目開きの原因にもなります。
- ・ 粘りの強い接着剤を使用すると、糊溜まりの原因になりやすいので注意してください。
- ・ 壁紙表面に糊などをつけたまま放置しますと変色の原因になりますので、ただちに拭き取るようにしてください。

リリカラ株式会社

2026年8月

インクジェット別注基材_自然素材 メタルベース壁紙

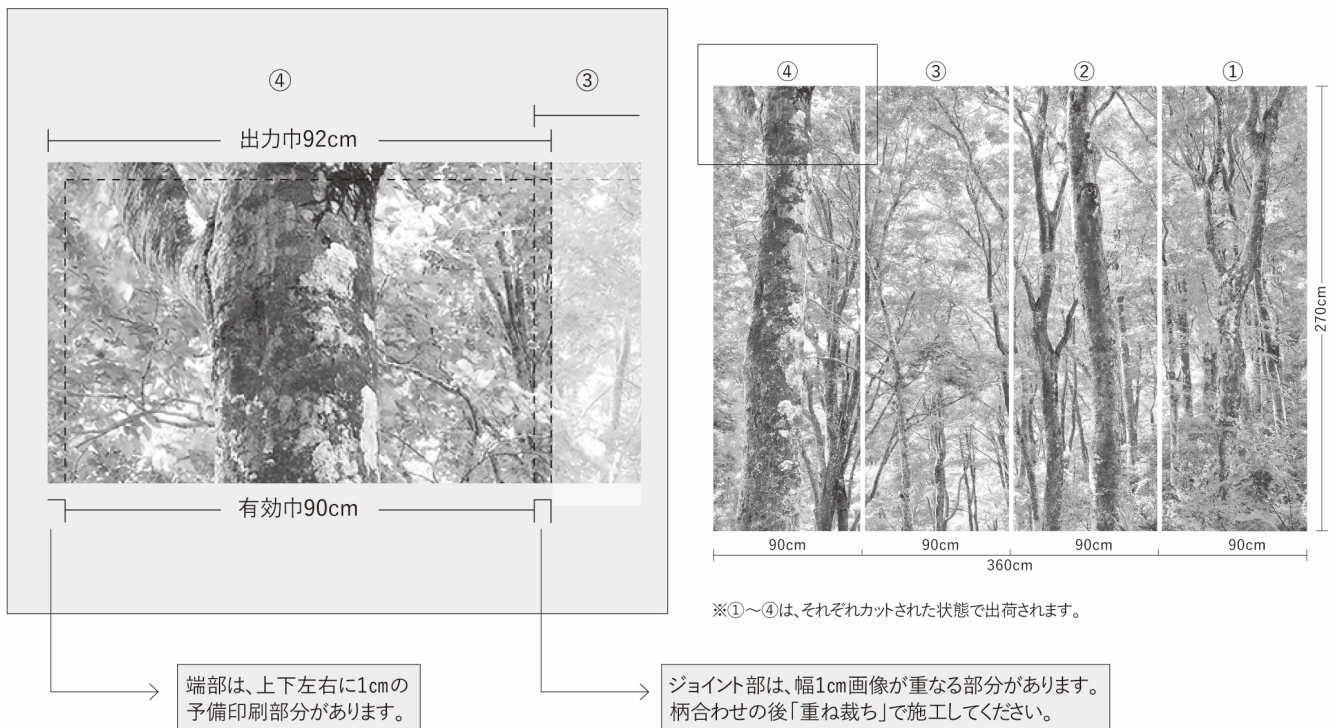
3 養生・オープンタイム

- 紙素材の壁紙は透湿性があるため、糊の付け溜めはきませんが、材料の柔軟性と施工性の向上のため、オープンタイムは欠かせません。材料の透湿度や伸縮性、気温、湿度等を考慮し、適切なオープンタイムを取るようにしてください。（材料がしんなりした頃が貼り頃です。）
- 接着剤塗布後は、オープンタイムを10～15分程度、施工可能時間は30分以内を目安に作業を進めてください。
- 糊付け後は、折りジワ防止の為、ビニールクロスのように、折りたたんで、押さえつけたり積み重ねたりしないで下さい。又、折りたたむ際は大きくたたみ、一枚一枚肩に担ぐなどして、折りジワをつけないように、注意深く運んで下さい。
- ・オープンタイム時に折りたたんだ折り目が、施工後もスジとなって消えない場合があります、ご注意ください。

4 割付

デジタル・デコ出力製品の仕様（壁紙）

- デジタル・デコ壁紙は、有効巾90cm、出力巾92cmです。
- 上下左右に1cmの予備印刷部分があり、ジョイント部は左右1cmの幅で出力画像が重なります。画像が重なっている部分で柄合わせし、重ね裁ちで施工してください。



5 なで付け・ジョイント

- 中間層の金属シートによって寸法安定性の高い基材ですが、施工糊の水分や湿温度によって伸縮するため、表示寸法と施工後の商品寸法では差異が生じます。施工面積や枚数が多いほど影響が大きくなりますので、キャラクターなどデザイン上のポイントとなる部分から貼り出す等、注意が必要です。
- 施工面の垂直・水平を事前にご確認いただき、貼り出しの1枚目を必ず垂直に貼ってください。
- ジョイント部分は重ね貼りまたは重ね裁ちで納めるようにしてください。（重ね貼りの場合は、部屋に入る光線の角度によってジョイントが目立つことがありますので、貼り出す順番を考慮しながら貼るようにしてください。）また、目地をとる施工もお勧めです。
- 重ね裁ちの際は下敷きテープ等を使用し、下地を傷つけないようにしてください。
- 強く擦ると印刷インクが落ちる場合があります。なで付けは柔らかい刷毛を、ジョイントはウレタン製のローラーをご使用ください。
- 表面が傷つきやすいため、なで付けは柔らかめの刷毛を使用し、ていねいに行なってください。
- ジョイント部分のなで付けは横方向には行なわないようにしてください。材料を引っ張ってしまうことになり目開きの原因になります。
- ローラー掛けの際は柔らかいウレタン製のものを使用してください。硬い樹脂製のローラーで強く擦るとテカリが発生してジョイント部分が目立ってしまうことがあります。当て紙などをするようにしてください。
- ジョイントが目立ちやすいためカッターの刃は薄刃のものを使用し、こまめに替えて常に鋭利な状態で使用してください。
- 粘着テープの使用は、テープを剥がした際に壁紙表面を破損するおそれがありますので、使用しないでください。
- 壁紙表面に接着剤等が付着した場合は、直ちにきれいな水で拭き取ってください。変色の原因になります。

6 施工後

- 施工後は、外気や冷暖房などによる急激な室温の変化を避けるようにしてください。目開きや剥がれ等の原因になります。



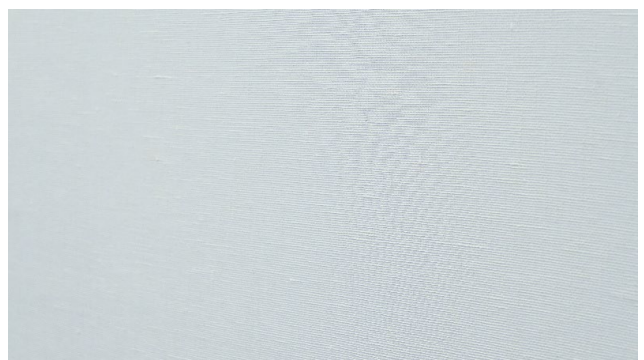
- 土佐レーヨン 雲竜
- 薄い表層から、中間層の金属シートの光沢が透過します。



- 市川和紙 落水
- 表層の落水の隙間から、中間層の金属シートが露出し、薄い和紙の部分も光沢が透過します。



- 美濃和紙 雲竜
- 一般的な和紙と同様の表層ですが、薄い和紙部分は中間層の金属ベースが透けて暗く見えます。



- リネン織物
- 一般的な織物壁紙と同様の表層です。